

「災害復興支援団体 山口災害救援」の講習会を見学しました。

7月14日(日) 13:00-16:00 小雨の中、防府市文化福祉会館3階会議室で開催された講習会に参加しました。全4回の講習会の2回目です。公募で集まった大学生等の受講者30名、スタッフ10名程度が参加されていました。この手の講習会に、若者がたくさん集まっていることに驚きました。しかも、団体の拠点は岩国市、参加者もほとんど県内の他の市からの参加とのことで、災害ボランティアに対する意識の高さを感じました。

災害ボランティア活動や現地ボランティアセンター運営について、あるいは介護について、具体的で分かりやすい説明でした。各班に分かれての議論も活発に行われましたが、その中で、ボランティアセンターに行こうと思った時に、「準備するもの」「ほしい情報」「不安に思うこと」について各班で意見を出し合いました。参加者は本気で行くつもりで、自分事として具体的に考えておられるのが素晴らしいと思いました。

スタッフがそれぞれ専門を持っておられ、実際に経験も豊富なので、講義内容も実践的でしっかりしていました。各班にスタッフが1~2名入り、受講者が興味を持って受講し、理解できるような体制になっていました。



講習会の風景



資機材を触ってみる

<山口災害救援>

全国各地で多発する自然災害に際し、救援活動を実施することで得たノウハウやスキルを基に、災害ボランティアセンター運営スタッフやスーパーバイザーの養成を図っている団体。メンバーは、普段はそれぞれ色々な活動をしており、複数の活動団体に所属している人もいる。単なるボランティア集団ではなく、社協や市役所、大学(看護)等から多士済済が集まった強力な団体。

次回は呉市天応に貸し切りバスで行き、被災地を視察し、仮設住宅で暮らす人たちを慰問して山口名物瓦そばを振舞われるそうです。現地の状況は社協を通して把握しており、単なる見学ツアーではありません。